

市境の看板分かりやすく

明智町の外に長いこと住んで、久しぶりに戻ってきました。合併があつていくつかわ変わった点があるようですが、気が付いたことをお知らせします。

よそから来る観光客(大正村へ)の方が合併のことを知らず、道路の町・市境の辺りで車を止めて迷つてみえることがあります。例えば、今までは「瑞浪市」「明智町」という書き方であつたのが「恵那市」になつてしまつたため、違つたところへ来たと勘違いされているようです。「恵那市明智町」のような表示にしたほうが分かりやすいのではないのでしょうか。

(匿名・明智町)

答

道路の市町村の境界に立ててある市名標識について

は、国道・県道の管理をしている岐阜県が設置しています。今後は「恵那市明智町」などのような標識について県と協議していきます。

(道路河川課)

ごみ収集の曜日を毎年変えないで

ごみ回収の曜日が一年ごとに変ります。一年はあつたという間です。覚えたころに変わり、自治会長(環境委員)さんは四月は大変です。回覧を出したり、回収場所に張り紙をしたり、それでも出す住民がいます。五月の連休などのことを思えば変える必要はないと思います。一部の人の意見で行政を動かさないでほしい。よく考え、毅然とした態度が市職員には必要ではないでしょうか。

(篠原さん・大井町)

答

旧恵那市地域のごみの収集は、月・木曜日と火・金曜日にコースを分けて実施しています。平成十五年の祝日法改正以降、月曜日が振り替え休日となる機会が多くなり、月・木曜が収集日に当たる地域から「火・金コースの地区と比べて休みが多く不公平である」との意見を多く頂きまし

た。旧恵那市では市民の皆さんの不公平感を緩和するため、試行的に平成十六年四月から一年ごとに収集曜日を入れ替えることにしました。本年度で二年目を迎え、市民の皆さんからはおおむね肯定的な意見を頂いています。今後、皆さんの反響をみながら継続するか否かの対応を検討していきます。

(環境政策課)

ごみ袋のミシン目は不要

ごみ袋についてのお願いです。現在の「ごみ袋もまだ「ミシン目」があり、それがもたで破れてしまつて困っています。いつまでもこのままでは駄目だと思ひ提案します。「ミシン目のない袋」を切望します。最初のころの袋を望みます。きつと提案された方も後悔していることでしょうか。

(青山さん・大井町)

ごみ袋の改善ですが、多治見市が新しくしたと新聞に報道されていまして、ごみ袋の縛り口が難しいので、恵那市も改善してほしいと思います。

(篠原さん・大井町)

答

市指定ごみ袋については、市民の皆さんからさまざまなご意見を頂いています。ミシン目についても賛否両論あります。そこで六月六日に市長が市廃棄物減量等推進審議会へ諮問した項目の中に「指定ごみ袋の形状について」も含まれました。(広報えな「6月15日号」19ページにて既報) 今後は同審議会で、市民の皆さんが使いやすい、処理施設の負荷が小さいごみ袋の形状を検討していただき、新たなものに変更することとしています。

(環境政策課)

けいなん斎苑まだ使用できぬ?

新市になって、新しく火葬場が阿木川ダムの近くに建設されましたが、今までの恵南の火葬場(けいなん斎苑)は今後使用不可になるのですか。地域によってはかなり遠くなるようですが。

(浅見さん・岩村町)

答

今年十月に「えな斎苑」が火葬業務を開始します。これに伴い「恵那市火葬場(大井町)」は閉鎖しますが、「けいなん斎苑(岩村町)」は引き続き業務を行

います。

しかし「けいなん斎苑」は昭和五十九年一月から稼働していますので、老朽化が進み、修繕費や維持管理費が多くなるのが考えられます。存続については、行財政改革の中で利用状況と維持管理費を考慮し、検討していきます。

(環境施設課)

公共交通機関 これからはどうなるの

恵那市(恵南地域)の交通体系について提案があります。明知鉄道で福祉バスを含むバス事業を行うってはいかがでしょうか。

上矢作町、山岡町、串原村などの各旧町村のバスの運転が一つの鉄道会社となれば、バスと列車の接続も今より改善される。それに一時間に一本しか運転できない鉄道をサポートすることが可能であり、恵那市の公共交通を自由に乗りできる周遊切符などを発売すれば、観光客の方々にも便利になりそう。

また福祉関係ではバスという公共交通機関を市内に張り巡らせれば、ご高齢の方も利用しやすく、便利になると思います。

明知鉄道の社名を変更したらいい

かがですか。

(匿名・岩村町)

公共交通機関は、旧各市町村の体制があると思うのですが、今後はどのようにされるのですか。できる限り本数を増やしていただくことを希望します。

(十七年度市政モニター)

答

現在、市ではバス等交通計画策定委員会を作り、明知鉄道を含むバス交通計画を作成中です。市総合計画での市民意識調査、地域懇談会での要望などを参考にしながら、策定を進めています。今回も貴重なご意見として参考にさせていただきます。

しかしながら、バス交通を取り巻く状況は、利用者の減、少子化による通学児童の減少など厳しいものがあります。限られた財源の中で、皆さんに利用していただくよう計画を策定しています。

明知鉄道も長い歴史があり、本年度第三セクターとして二十周年を向えます。皆さんのご協力により運営していますので、今後ともご利用・ご支援をお願いします。

(商工観光課)

インタビュー



色とりどりのうちわが完成
足立 晃一くん
(吉田小学校4年生)
乾かすのが大変だったけれど、思うよううちわができて楽しかった。全部の絵の具を使って作ったうちわはお母さんのよりも上手にできた。絵の具を混ぜるのが楽しかった。



国際交流でコンゴ料理を
横井 伸予さん
(大井町岡瀬沢西)
コンゴ料理はあっさり味でヘルシーな感じでした。レモン汁を煮込みに使うことなど料理に取り入れたいと思いました。講師のムゴンバさんは日本語も上手で楽しく交流ができました。



てのひらメルヘンに参加
永治 英梨果さん
(大井第2小学校3年生)
講座「てのひらメルヘン」は、海に行ったときのイメージでビーチボールやカニの絵を貼り付けて飾りを作りました。自分の部屋の少し高い所に飾りたいと考えています。



どんぐりクラブに参加
安藤 英一君
(大井小学校6年生)
どんぐりクラブでは、野球、工作、木登り、勉強などいろんなことがみんなとできるので毎日来ています。夏休みだけでなくみんなが集まれる機会があればいいと思います。